

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年10月22日(2020.10.22)

【公開番号】特開2018-102907(P2018-102907A)

【公開日】平成30年7月5日(2018.7.5)

【年通号数】公開・登録公報2018-025

【出願番号】特願2017-207303(P2017-207303)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/539 (2006.01)

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/539

A 6 1 F 13/53 3 0 0

A 6 1 F 13/53 1 0 0

A 6 1 F 13/15 3 2 9

A 6 1 F 13/15 3 5 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和2年9月7日(2020.9.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基材シートに吸水性ポリマーが固定されている吸収性シートであって、吸水性ポリマー固定率が40%以上である吸収性シート。

【請求項2】

前記吸水性ポリマーが、基材シート固定用接着剤を介して前記基材シートに固定されている請求項1に記載の吸収性シート。

【請求項3】

前記基材シート固定用接着剤が、アクリル系、シリコーン系又はゴム系である請求項2に記載の吸収性シート。

【請求項4】

前記基材シート固定用接着剤がホットメルト接着剤である請求項2又は3に記載の吸収性シート。

【請求項5】

前記基材シート固定用接着剤の残留応力が3kPa以上18kPa以下である請求項2~4の何れか1項に記載の吸収性シート。

【請求項6】

前記吸水性ポリマーが前記基材シートの両面に固定されている請求項1~5の何れか1項に記載の吸収性シート。

【請求項7】

前記基材シートが不織布又は樹脂フィルムを含む請求項1~6の何れか1項に記載の吸収性シート。

【請求項8】

前記基材シートの曲げ剛性が10cN以下である請求項1~7の何れか1項に記載の吸

吸収性シート。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 8 の何れか 1 項に記載の吸収性シートと、該吸収性シートの少なくとも一面を被覆する被覆シートとを具備する吸収体。

【請求項 10】

前記吸収性シートにおける前記吸水性ポリマーが吸液により膨潤した状態において、該吸収性シートにおける前記基材シートの見かけ厚みが、該吸水性ポリマーの膨潤前に比して増加している請求項 9 に記載の吸収体。

【請求項 11】

前記吸水性ポリマーが、被覆シート固定用接着剤を介して前記被覆シートに固定されており、

前記吸水性ポリマーが吸液により膨潤した状態において、前記被覆シート固定用接着剤の接着力が、該吸水性ポリマーの膨潤前に比して低下している請求項 10 に記載の吸収体。

【請求項 12】

前記吸収性シートにおいて、前記吸水性ポリマーが基材シート固定用接着剤を介して前記基材シートに固定されており、

前記基材シート固定用接着剤と前記被覆シート固定用接着剤とは、湿潤状態における接着力が異なっており、該基材シート固定用接着剤の方が該被覆シート固定用接着剤よりも湿潤状態における接着力が強い請求項 11 に記載の吸収体。

【請求項 13】

前記吸水性ポリマーが、基材シート固定用接着剤を介して前記基材シートに固定されており、

前記被覆シート固定用接着剤は、前記基材シート固定用接着剤に比して残留応力が小さい請求項 11 又は 12 に記載の吸収体。

【請求項 14】

請求項 2 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の吸収性シートの製造方法であって、
基材シートの一面に接着剤を塗布した後、該一面に吸水性ポリマーの小片を散布する工程を有する、吸収性シートの製造方法。

【請求項 15】

前記接着剤の残留応力が 3 kPa 以上 18 kPa 以下である請求項 14 に記載の吸収性シートの製造方法。